

# 藤沢病院 植物マップ

藤沢病院は、患者さんに少しでもリラックスして頂けるよう、四季折々の植物が楽しめる緑豊かな環境となっています。また、入院患者さんに散歩を楽しんで頂きたいという石井院長の思いから、かえで棟とさくら棟の間には、広くてきれいな中庭があります。どこにどんな植物が育っているか植物マップで主な植物を紹介します。

## オリーブ

中庭には立派なオリーブの木があります。広い中庭は、風通しが良いのですが、風が強すぎる日もあるため、うまく育たない植物もありました。そこで、今年、風に強いオリーブの木が新しく中庭に仲間入りしました。8月には少し実をつけてくれます。オリーブの実は通常10~11月頃には黒紫色に熟すようなので、これからが楽しみです。



## オオムラサキツツジ・ヒラドツツジ



オオムラサキツツジ  
ヒラドツツジ  
ローズマリー  
ヤマモミジ



## タマナワザクラ

早咲きの桜であるタマナワザクラ(玉縄桜)は、大船の神奈川県立フラワーセンターで生まれた桜です。ソメイヨシノの早咲きのものを品種改良して誕生したそうです。藤沢病院は、「玉縄桜を広める会」をお願いをして、敷地内に沢山のタマナワザクラを植えて頂きました。例年、2月中旬頃から咲き始め、見頃は1ヵ月程度続くので、長く楽しむことができます。



正面玄関前の様子



ヒメシャラ

ヤマモモ・ヤマモミジ・  
クロガネモチ・ハナミズキ



シノキ



## フヨウ

藤沢病院には、平成の初めまで「芙蓉(ふよう)病棟」がありましたが、今も敷地内の色々なところにフヨウが咲いています。フヨウは、7月~10月に美しい大きな花を咲かせ、朝咲いて夕方にはしばむ1日花です。ハイビスカスの仲間、夏を代表する花です。

フヨウ・コウバイ・ヤマモミジ・ナンテン・  
キンモクセイ・サザンカ・ローズマリー



コウバイ



## ローズマリー

ローズマリーは、白や薄い紫色などの花を咲かせ、乾燥させた花や葉っぱは、ハーブティーや香辛料として飲食に使われたり、入浴剤やポプリなどの香料としても使われる植物です。ローズマリーの香りには、殺菌作用・鎮静作用の効果や、集中力・記憶力を高める作用があるとされていることから、「みんなが元気になるように」という想いで、中庭で育てることになったそうです。中庭の通路の足元に育っていますので、ぜひ香りに癒されてください。

パンパスグラス・シダレザクラ



## パンパスグラス

売店すずらんの前に背の高いすすきの様な植物が生えていますが、これは「パンパスグラス」という南米原産の植物です。背丈が2~4mになり、羽毛のようにやわらかい花穂をつけ、密に群生するのが特徴です。名前の由来は、南米の大草原(パンパス)に生えている草(グラス)という意味だそうです。穂を咲かせる時期は、9月~11月上旬です。

アジサイ・イチョウ・ユキヤナギ



アジサイ

タマナワザクラ・ソメイヨシノ・シノキ・  
ヒラドツツジ・ローズマリー・  
ハナミズキ・キンモクセイ

今回ご紹介させて頂いたのは、主な植物です。他にも色々な種類の植物がありますので、機会がありましたら、植物や草花を楽しみながら散策されてはいかがでしょうか。